

ねえ知ってる?!日本の国土のこと クイズにチャレンジ!

私達が住んでいる日本の国土はどのような特徴があるのでしょうか?
国土についてのクイズを出題します。クイズにお答えいただき、あわせて月刊「建設」の記事についての感想、実施してほしい企画の希望などをお寄せください。正解された方の中から選定のうえクオカード(500円分)を進呈致します。

問題

日本で一番温泉の少ない県はどこでしょうか?

1. 埼玉県
2. 長野県
3. 鳥取県
4. 沖縄県

※たくさんのご応募お待ちしております。
クイズの正解は次号にて発表します。
お楽しみに!!

担い手確保の事例が
勉強になったにゃ

9月号の答え
3. 国道174号
でした。



1. 応募締切
月刊「建設」最新号到着からその当該月末日まで
2. 解答方法
右下のQRコードをご利用いただくか、全建HPの「ねえ知ってる?!日本の国土のことクイズにチャレンジ!」のパナーをクリックし、解答してください。なお、ご意見・ご感想・お名前等ご記入下さい。
※タブレットPC、スマートフォンからも解答できますが、従来型の携帯電話からは解答できません。
※管理の都合上、下記問合せ先からのご応募は対応しかねますのでご遠慮ください。
3. 当選発表
当選された方にはメールでご連絡させていただきますが、当選者は全建会員の方に限定いたします。
4. 問合せ先
一般社団法人 全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL: 03-3585-4546/E-mail: kensetsu@zenken.com



Dr.クマの“健康のヒント”

身近なクスリと毒



全ての薬は毒であり用量が毒性を決定する、という言葉を残したのは中世の錬金術師で近代化学の祖といわれるパラケルススである。学生への講義で必ず紹介する名言だ。よく、これは自然由来のものだから安心ですなどという表現を聞くが、自然由来の毒物の方が合成されたものの毒性より強いことが多い。たとえば致死量で比べるとフグ毒は青酸カリの1000倍、サリンの40倍強い。自然界には毒性がある動植物が多く、その中から先人達は薬として使えるものを発見し、試行錯誤の後に適切な使用方法を見いだしてきた。私はコロナ流行の自粛生活の中で、自然の中での散歩を楽しみにしており、目についた植物や生物の写真を撮り、あとで名前を調べることにしている。

数日前見かけた可憐な花の名を調べるとニチニチソウだった。驚いた。これに含まれているアルカロイドは抗腫瘍薬ビンクリスチンの原料である。副作用が強くさじ加減が必要な薬であり、当然この花も毒性が強い。ニラと間違えて水仙の葉を食べて中毒になる例が報道されることも多いが、イヌサフランも葉はギョウジャニンニクと、球根はニンニクと間違えられることがある。これには痛風発作に使うコルヒチンが含まれており、量によっては死に至ることもある。自然の恵みはとてありがたいものだが、さじ加減がとて難しいと感じるのである。

北里大学医学部 教授 熊谷 雄治